飛騨市 地域おこし協力隊を紹介します！

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域に移住し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住を図る取り組みです。

市では今年度新たに３名の地域おこし協力隊に委嘱し、プロジェクトを推進します。
今回は山之村の地域振興に従事している石井大地さんを紹介します。

多くの方々に知ってもらいたい、体が感動する山之村の味。狩猟文化や食を起点に山之村の魅力を伝える

石井（いしい） 大地（だいち）さん

出身地：宮崎県延岡市
委嘱日：令和6年7月1日

▸協力隊に応募したきっかけは？

アウトドア好きだったこともあり狩猟をやりたいと思い移住先を検討していました。以前住んでいた名古屋市にある移住交流センターに相談したところ飛騨市が良いのではとなり、飛騨市役所に問い合わせたところ山之村を紹介してもらいました。その後、山之村の移住コンシェルジュでもあるわらび職人の前原融さんとウェブで面談してから山之村を訪れました。初めて山之村を訪れた際に完熟大根をいただき名古屋に持ち帰り食べたときにその美味しさに衝撃を受けたことを覚えています。また、山之村の狩猟文化を紹介した本と出会い熟読する中で、徐々に山之村に惹かれていき協力隊になることを決めました。

▸活動内容は？

現在は牧場の仕事や農家さんのお手伝いをしながらＳＮＳ等で山之村の情報発信をしています。夏はほうれん草の収穫、冬は山之村の名産である寒干し大根の作業を行います。今後は有害鳥獣駆除を行う予定なので現在狩猟免許取得を目指しています。

▸特に印象に残るエピソードは？

今までと違う環境で驚くことが多すぎて１番のエピソードが選べないくらいですが、移住して１週間後に山水の処置に行ったことです。山之村は山水を引いている家も多く、山水が止まった時は水源のタンクを設置している山の奥まで藪道を歩き、タンクの中を掃除しました。タンクのそばで熊が木の皮をはいだ跡を見たのが印象に残っています。それと村の人たちのお酒の強さです。強いと聞いていましたが本当に強いです。村の人とお酒を飲む際に狩猟や市内の飲食店、生活のことを教えていただくことが多いです。

▸今後の展望は？

短期的な展望は今年度中に狩猟へ行くことと山之村の冬を無事に過ごすことです。また、長期的な展望は自分で栽培した野菜と獲ったお肉を「提供できる場所」を作ることです。
この環境や場所で採れた野菜、獲れる鹿、猪、熊のお肉は本当に上品な味で体が感動する美味しさです。自分自身が感じた感動を沢山の人に知ってもらいたいと思い、現在はキッチンカーでの営業を検討しています。
また、食を起点に山之村の魅力を伝えることで村に新たな灯が１つでも増やせるように新たな移住者の獲得を目指しています。

播種（作物の種をまく）作業の様子

問 ふるさと応援課　TEL 0577-62-8904

●発行／令和７年１月15日 飛騨市役所　●編集受託／てのひらプロダクツ　●印刷受託／有限会社村坂印刷
〒509-4292　岐阜県飛騨市古川町本町2番22号　TEL 0577-73-2111　URL https://www.city.hida.gifu.jp/

UD FONT by MORISAWA
VEGETABLE OIL INK 再生紙と環境に優しい植物インキを使用しています。